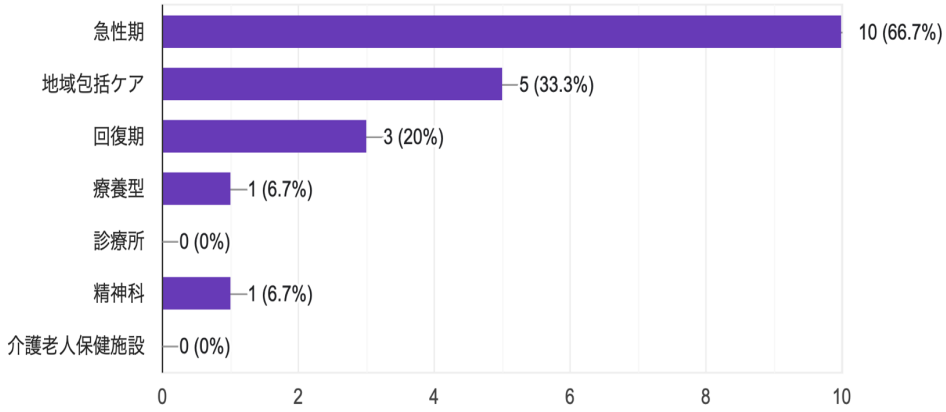
初任者研修　アンケート
研修科目：初任者研修Ａ　「実践に必要な医学知識～脳卒中」
講師名：饒波正博
研修日：２０２３年７月２３日（日）
受講者数：　１６名　アンケート回答者　１５名

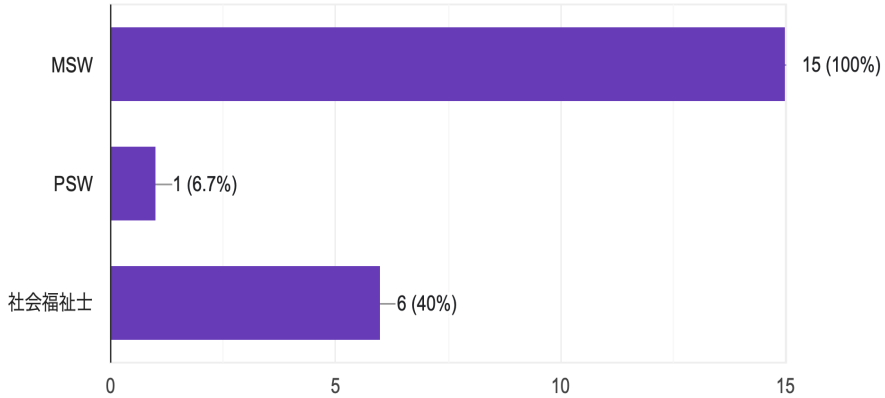
１．所属機関は何ですか。該当するものにチェックをしてください。

15 件の回答



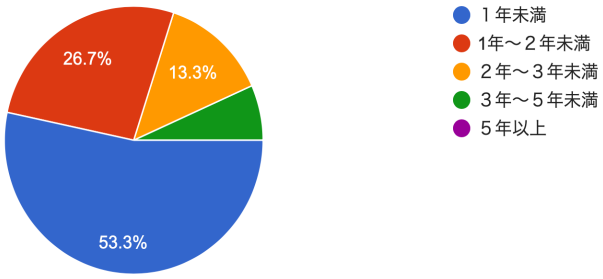
２．職種は何ですか。該当するものにチェックをしてください。

15 件の回答



３．経験年数は何年ですか。あてはまるものを選んでください。

15 件の回答



４．本講義で学んだことを３つ書き出してください。

①脳卒中とは前触れなく起こるもの
②若い働き盛りの独身男性に多いのが脳出血
③くも膜下出血の原因である脳動脈瘤は女性に多く、遺伝性がある

脳卒中、TPA、地域連携について

脳卒中には出血と梗塞が有る　脳出血では後遺症がある　くも膜下出血は女性に多い

血栓症と塞栓症の違い、くも膜下出血が脳外で起こるもので他の出血や梗塞より比較的に症状が軽い

・脳卒中の酒類 ・t-PAについて ・脳卒中パスについて

脳出血は破裂　脳梗塞は詰まる　沖縄県は脳出血患者が多いこと

①脳卒中のそれぞれの病態
②脳卒中のそれぞれの治療法
③脳卒中の地域連携

1.脳出血と脳梗塞をまとめて脳卒中と言う。
2.脳出血は脳の血管が破裂する。
3.脳梗塞は脳の血管が詰まる。

脳出血と脳梗塞の違い、脳卒中の見分け方、連携パスの大切さ

脳卒中。脳出血。脳梗塞。

・脳卒中を起こして完全に回復することはないため、患者さんにも伝えて受け入れてもらう必要があること
・脳卒中→脳出血と脳梗塞
・くも膜下出血の方が病態が重く、回復するのは 数%しかいない

脳出血は脳内での出血、クモ膜下出血は脳の外での出血 特にクモ膜下出血は致死率が高く、手術を行い生還できたとしても後遺症は残る 回復期病院でリハビリを行い自宅復帰後も再発予防として通院を行うことが必要

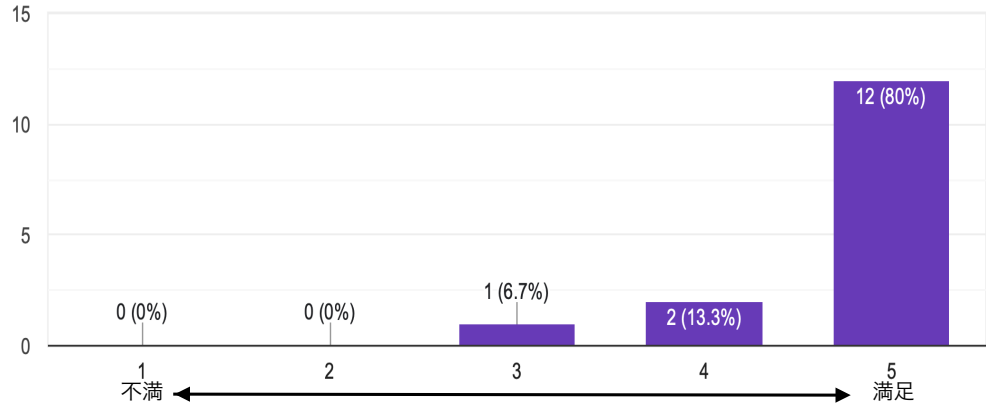
脳卒中地域連携において、回復期から維持期への移行体制はまだ不十分で課題としてあること、脳卒中には出血と梗塞の2種類から計5タイプがあること、くも膜下出血は女性に多く遺伝性があることを学びました。

脳卒中の病変　脳卒中の怖さ 脳卒中のサイン

脳卒中、脳出血、脳梗塞

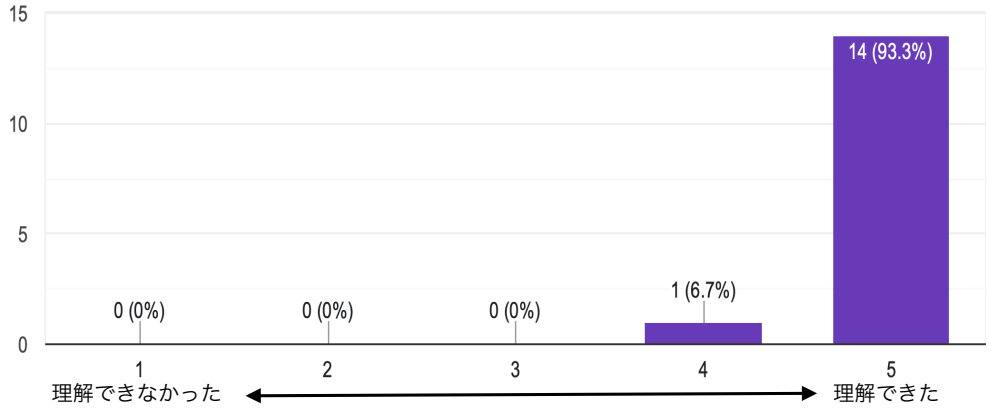
5．講義全体の満足度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

15 件の回答



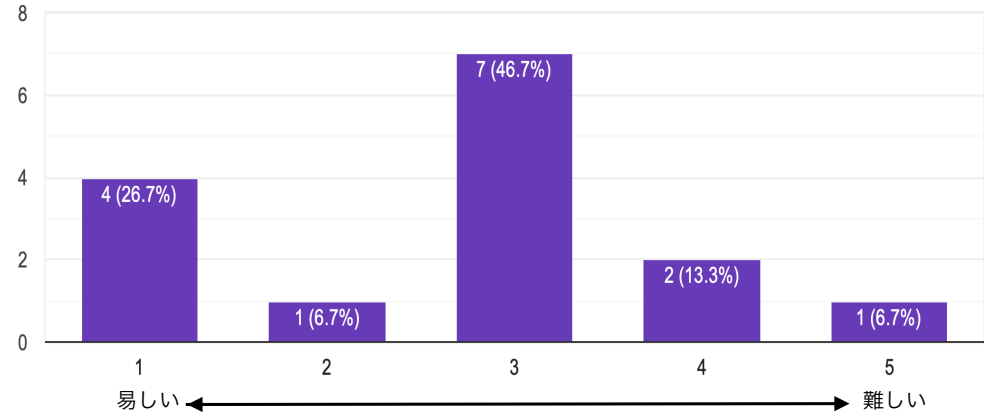
6．講義内容について理解の程度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

15 件の回答



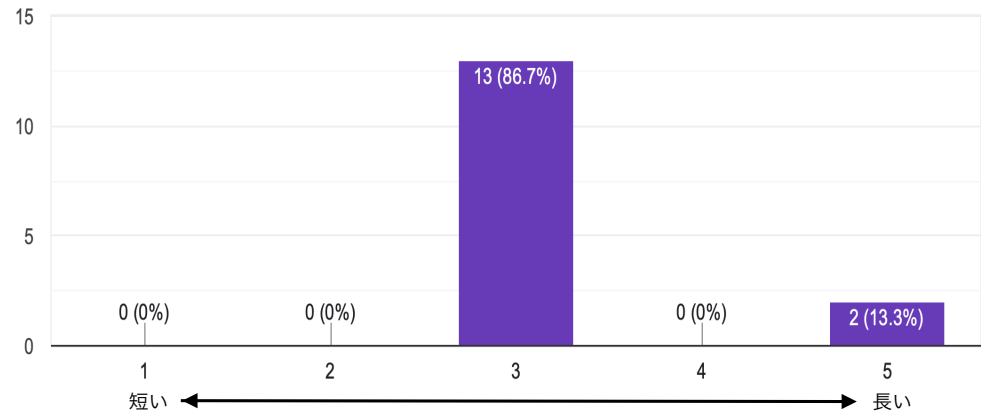
7．講義内容の難易度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

15 件の回答



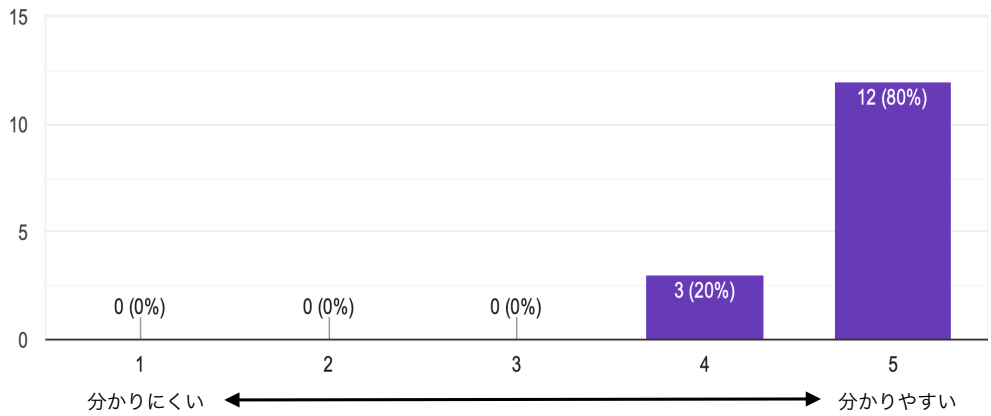
8．講義の時間配分はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

15 件の回答



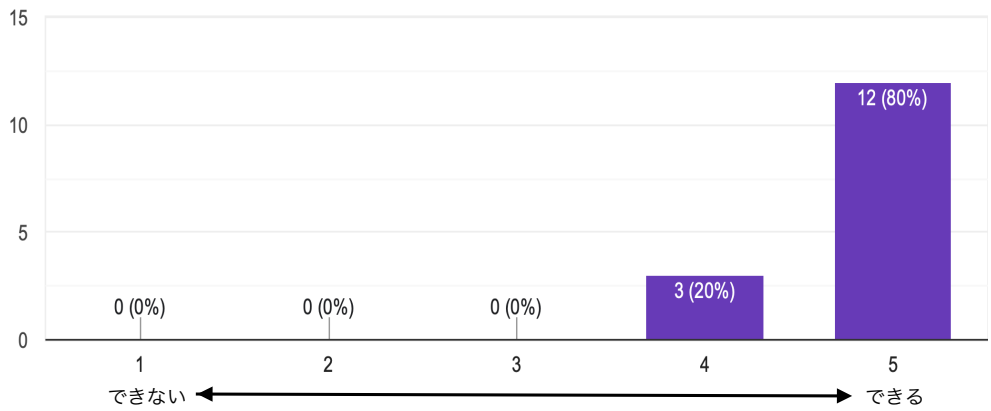
9．資料の分かりやすさはいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

15 件の回答



10．内容は実践に応用できますか。該当する番号にチェックをつけてください。【5段階】

15 件の回答



11. 本日の研修について具体的な感想・意見をお聞かせください。

基本的な脳出血・脳梗塞の違いや、細かい病名と特徴も知れたので非常に勉強になりました。予防策、自分自身や周りの家族がそうなった時の見分け方も知れたのはとても良かったです。

わかりやすくて、丁寧で、先生の人柄がでていて、とても良かった

次は饒波先生に精神科的な講義もしてほしい

とても分かり易く、興味深い講義でした。ありがとうございます。

医師のお話を直接聞くことができて、貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございました！

脳卒中について、分かりやすく詳しく学ぶことができました。脳梗塞でラクナやアテロームなどカタカナの病名で何が違うのか分からないままだったのですが、ラクナ梗塞は細い血管で起こる高血圧が原因の病気で、アテローム血栓性脳梗塞は太い血管で起こる糖尿病、コレステロールが高い人に起こる病気など知ることができました。 脳卒中は元に戻らず、障害を持ちながら生活できるようにリハビリを行なっていくというところも頭に入れながら、仕事をしていきたいと思います。

普段の支援の中で比較的脳卒中の患者さんは多いですが、理解が曖昧な部分があったので、そこをとても分かりやすく説明していただき感謝しています。 脳卒中地域連携パスの回復期後の外来フォローについても、とても興味深いお話が聞け、今後地域のクリニックでフォローしてもらえるようにはどうしたらいいのかという視点を持って支援をしていきたいと思いました。

急性期で働いていることから、脳卒中パスはかなり身近であるため、急性期から回復期、回復期から維持期の流れが大切であることを改めて学べた。また、脳卒中は誰がなってもおかしくないと思うため、脳卒中かどうかの見分け方や、種類を具体的学ぶことができて良かった。

脳卒中、出血、梗塞、各症状について、とてもわかりやすかったです。

回復期リハを担当しているため、実践に活かせそうな講義だった。 脳卒中のなかでも、5つの病態を図入りで分かりやすく説明があったため、なんとなくで把握していた部分も明確に理解することができた。

専門学校を卒業してから脳卒中とその疾患の特徴について学ぶ機会がなかったため、今回とても勉強になった。その中でも、脳出血は再発すると死亡率が高いと言われているため、退院後も予防のための通院が大事だと学ぶことができた。

現在回復期で働く中で、脳卒中後のリハビリ目的で入院される患者様も多いので、具体的な仕組みについて理解が深まりました。維持期との連携も意識して業務に取り組みたいです。

直接医師からお話を聞けてよかった。脳卒中は倒れてから運ばれるイメージがあったが、初期段階で119を呼ぶ大切さを知った。

脳卒中について理解できました。ありがとうございます

12. 今後の研修でとりあげてほしいテーマや希望する講師等についてお聞かせください。

肺炎と心不全と尿路感染症

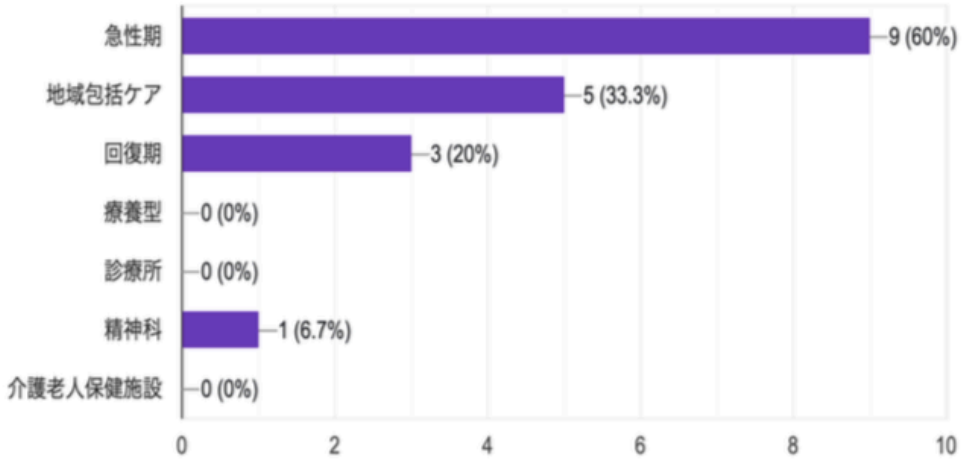
饒波先生の説明はわかりやすかった

医療的な面の研修をもう少し受けてみたいです。例えば薬のことも聞けると嬉しいです。

初任者研修　アンケート
研修科目：初任者研修Ａ　「実践に必要な医学知識～糖尿病」
講師名：島袋瑞枝
研修日：２０２３年７月２３日（日）
受講者数：　１６名　アンケート回答者　１５名

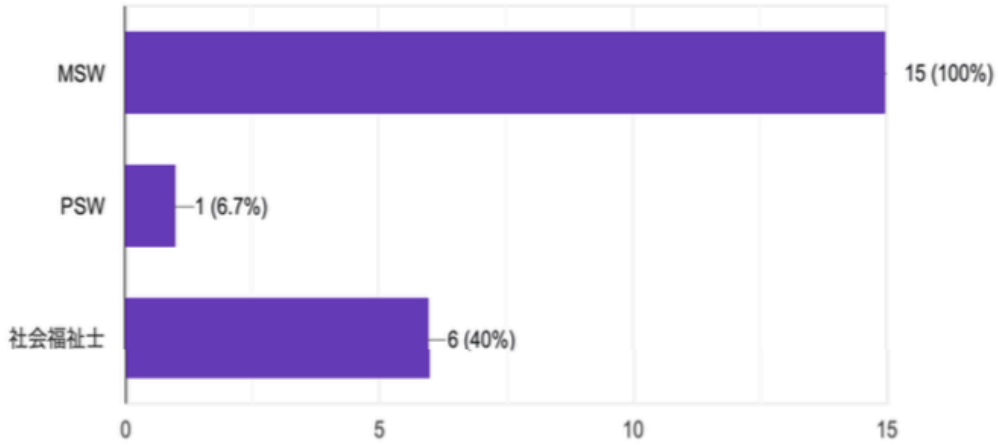
1．所属機関は何ですか。該当するものにチェックをしてください。

15 件の回答



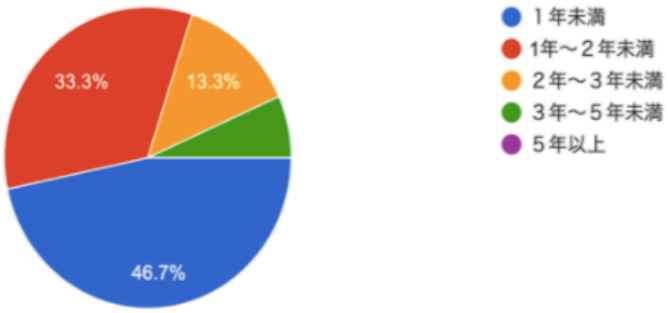
2．職種は何ですか。該当するものにチェックをしてください。

15 件の回答



3．経験年数は何年ですか。あてはまるものを選んでください。

15 件の回答



４．本講義で学んだことを３つ書き出してください。

・糖尿病の薬剤が7種、組合せが多いこと
・糖尿病の合併症について
・患者を生活者として捉えて退院支援する重要性

①日本人は糖尿病になりやすい体質である
②フットケアは重要、足を見るように声掛けをする
③諦めずにチーム医療で患者さんの意向に沿った支援をすることが大事

糖尿病の合併症から薬剤管理、フットケアや患者さんの気持ちを大事にするまで

高血糖はがん細胞増殖させてしまう点、一型は遺伝性が強いと思い込んでいた点、靴擦れがまさか命取りになるとは思いもよらなかったこと、

沖縄の肥満度　糖尿病の種類　合併症

・糖尿病とは、インスリンの作用不足によって生じる慢性高血糖の状態
・血糖値が70mg/dl以下になると低血糖状態 血糖値が低下すると、意識低下に至る
・フットケアを行うことで、QOLの低下を防ぐことができる。

糖尿病の基礎知識、糖尿病の合併症（しめじ・えのき）、糖尿病の足病変

①糖尿病について、治療について
②糖尿病合併症
③フットケア

糖尿病のイメージ　フットケアの大切さ　糖尿病の合併症で命を落とす怖さ

生活習慣病。糖尿病とは。患者の力を信じること。

1型糖尿病は原因がはっきりわかっておらず、肥満と関係はないこと、糖尿病が原因で透析導入となる方の割合が高くなっていること、足トラブルは靴ずれが原因となることが1番多く、そこから更に重症化となるリスクが高いことが印象に残りました。

1.糖尿病は、インスリンの分泌に不具合が起きて、慢性的に高血糖状態にあること。
2.糖尿病の方の足病変には注意しフットケアを行うことが大切。
3.その方の数値だけでなく、社会背景も踏まえて糖尿病治療を行うことが大切。

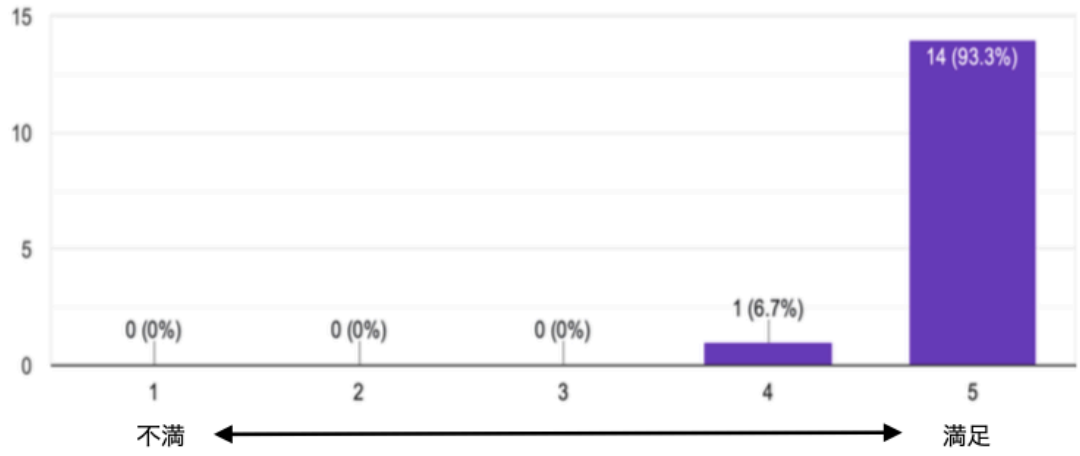
糖尿病、合併症、チームケア

糖尿病は自己免疫性や遺伝的要因、生活習慣などといったあらゆる原因から起こるため特性にあった治療方法を継続する必要がある
糖尿病は他の器官にも影響を与えやすく、特に足は家族の目が届かないことが多いので日頃から小さな怪我がないか気にすることが大事 スティグマや偏見が多い疾患であるため、医者看護師だけでなく家族や職場などで理解を深める環境にしていくことが大事

日本人は元々インスリンが少なめで２型糖尿病になりやすい
欧米人は肉を昔から沢山食べるからインスリン多めで１型糖尿病になりやすい
糖尿病足病変でトラブルの原因一位が靴擦れ

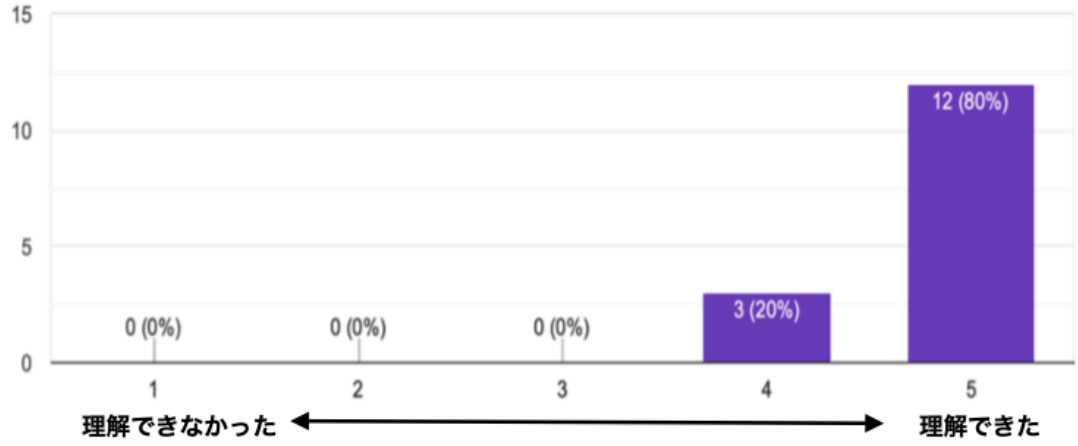
5．講義全体の満足度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

15件の回答



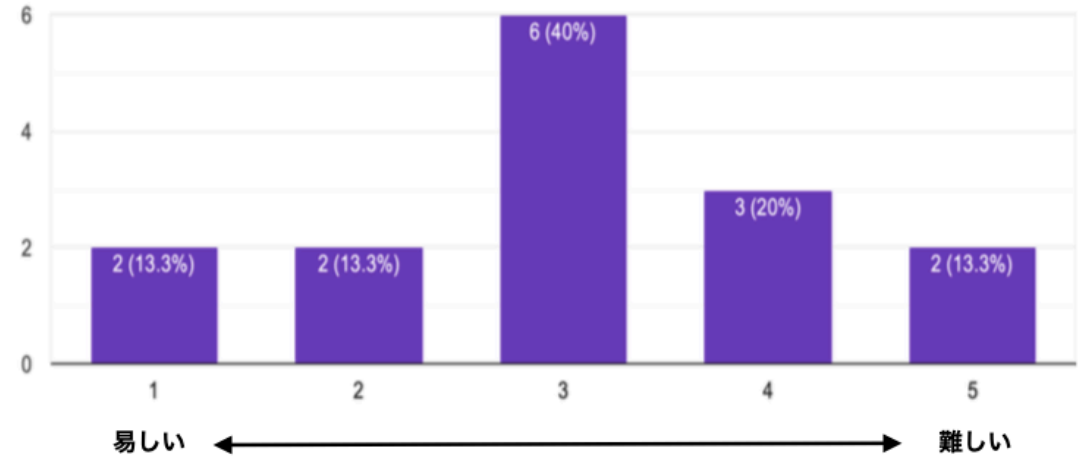
6．講義内容について理解の程度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

15件の回答



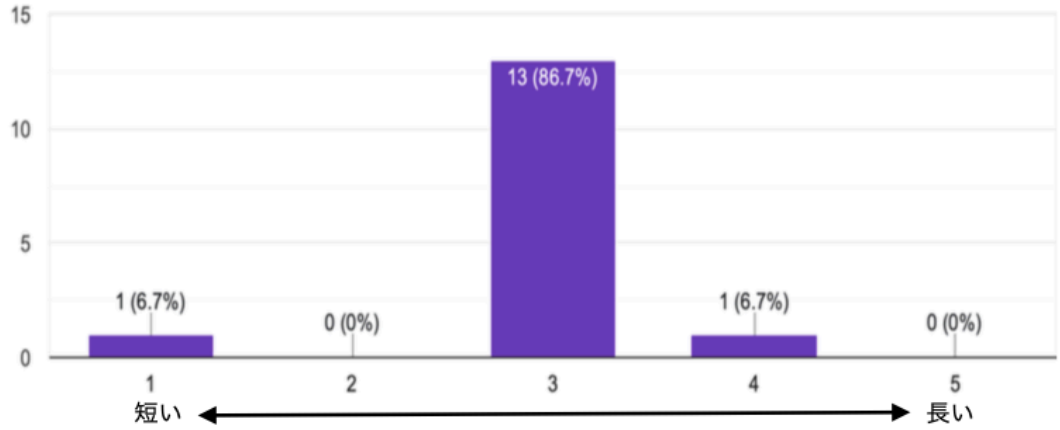
7．講義内容の難易度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

15件の回答



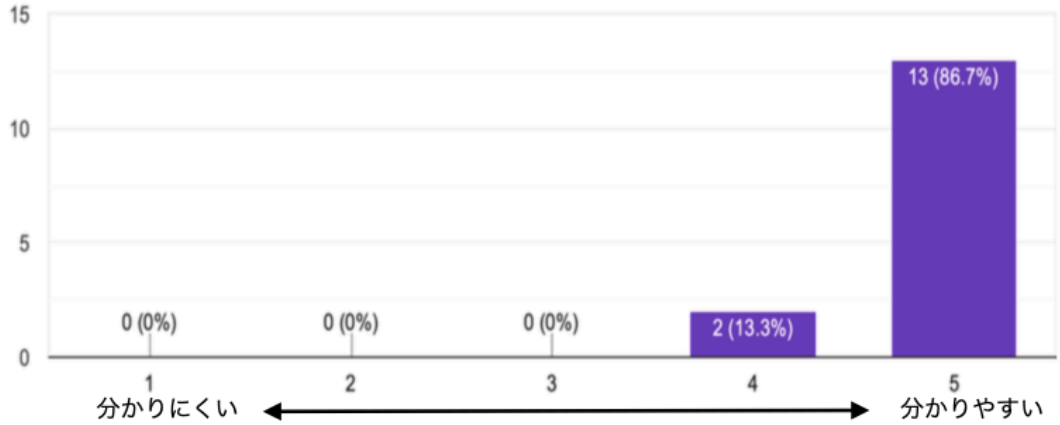
8．講義の時間配分はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

15 件の回答



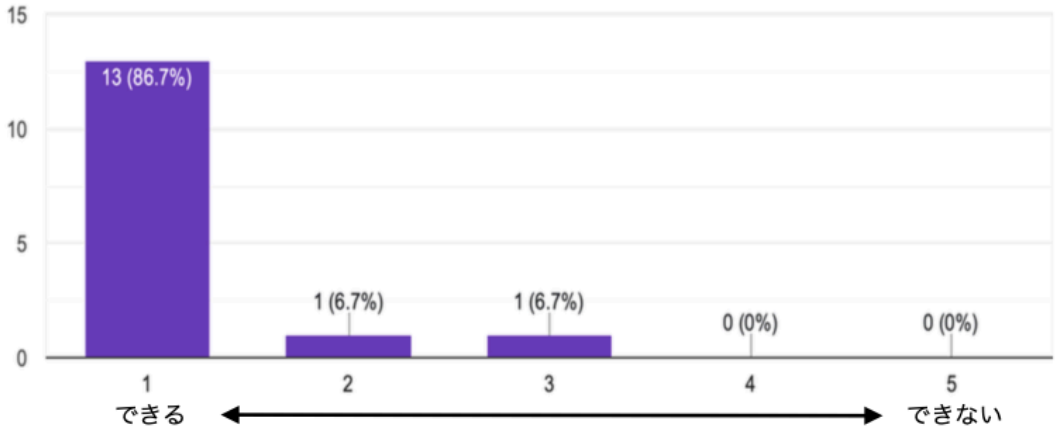
9．資料の分かりやすさはいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

15 件の回答



10．内容は実践に応用できますか。該当する番号にチェックをつけてください。【5段階】

15 件の回答



11. 本日の研修について具体的な感想・意見をお聞かせください。

担当患者さんにもDMを患ってる方もいらっしゃったりするので、基本的な病気の事についてや、それに伴う合併症、特にフットケアの重要性に触れられたことは非常に勉強になったなと思いました。

短い時間でたくさんヒントになる事がまとめられていました。医療の知識を看護師さんとも共有でき、院内カンファにも活かせそうです。

個人的に、自身の最近の症状が似ている点や検診で引っ掛かることがあったので我がごとのように思い聞き入っていました。とても、勉強になりました。ありがとうございます。

もっと時間が欲しかった

糖尿病を持つ人は、太っている人だというイメージを持っていたが、入院してきた患者さんでとても小柄で痩せている方が糖尿病を患っているケースがあり、驚いたことがある。 今日の講義を聞いて、糖尿病のしくみを理解することができた。 また、「足」がQOLに大きく関わってくることを学んだ。患者さんの足の状態なども注意深く観察してみようと思った。

糖尿病という用語はよく聞くけれど、具体的にどんな特徴があって、どんなことに気を付けなければいけないのかは把握していなかったため、基礎から学ぶことが出来て良かった。また、最後の事例を聞いて、病院は医師や看護師だけでなく、コメディカルやワーカーなどが協力することで、患者さんの現在や今後をより良いものにしていると感じたため、多職種連携の大切さを改めて感じることができた。

糖尿病について漠然とした知識しかなかったのですが、糖尿病がどういう病気なのかどういう診断をされるのかどういう治療を行うのかなど学ぶことができました。あまり知識がないからか、糖尿病に対してスティグマがあることを初めて知りました。糖尿病患者が糖尿病と付き合いながら、気張った生活をしないよう、その人ができる範囲で行えるようなサポートをしている話を聞き、糖尿病に限らず他のことでも応用できることだと思いました。 ワーカーとして、糖尿病患者が自宅で生活しやすいような社会資源を整えられるたり、思いに寄り添えるよう頑張っていきたいと思いました。

糖尿病のイメージが変わりました。合併症の怖さや患者さんとの治療の向き合い方についてもとても勉強になりました。

事例などを、あげて頂きながら説明をして頂いたので、理解しやすかったです。患者様を理解して実践につないでいきたいと思います。

最後の足病変についての内容がとても印象に残っています。靴ずれ等、あしについて普段あまり意識をすることがないのですが、糖尿病患者だと特に重症化リスクとなるので、実際職場でも今後意識を向けたいと思います。自分自身も、食事や運動等に気をつけて、生活習慣病予防に努めたいと思いました。

糖尿病について、とても分かりやすいスライドで理解しやすいご講義でした。 担当させていただく患者さんで糖尿病の方は多いですし、透析をされている方も多いです。1型糖尿病で、血糖値のコントロールが難しいからと断られるリハビリ病院さんもあり、日々悩みながら支援をさせていただいています。 また今日のご講義を参考に明日からの業務も頑張っていきたいと思います。 本日は貴重なご講義ありがとうございました。 個人的な質問になるのですが、スティグマのところでお話がありましたが、私も毎日の業務が忙しくお昼ご飯を抜くことも度々あります。途中でお菓子を摘むことは糖尿病のリスクが高くなるのでしょうか。 また、空腹時間が長くなると頭がぼーっとし、眠くなってくることが度々ありますが、これは低血糖との関連はあるのでしょうか。 もし宜しければお答えいただけますと幸いです。

糖尿病について理解することが出来ました。ありがとうございます

透析患者も多いので、とても参考になりました。ありがとうございました。

今私が持っているケースで糖尿病の治療中の方や、糖尿病がもとで足の壊死を起こしている方がいます。そのため今回の講義はそのような方々の病状の理解を深めるためにとてもよい機会になりました。

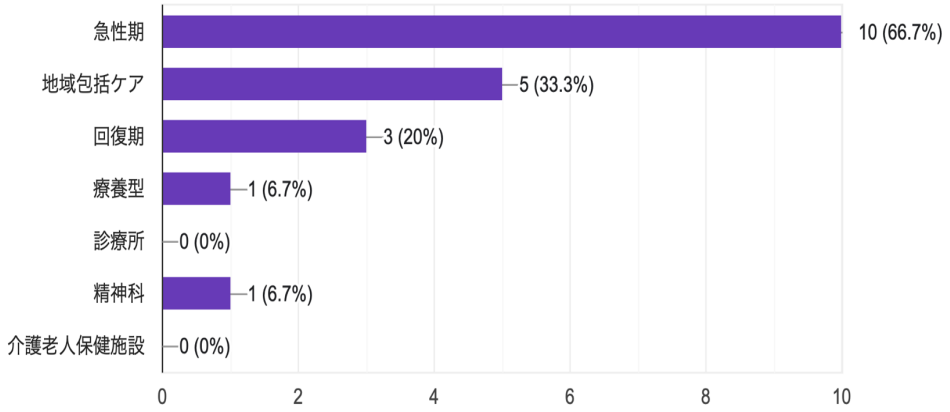
12. 今後の研修でとりあげてほしいテーマや希望する講師等についてお聞かせください。

身寄りなしなどの支援について学びたい

初任者研修　アンケート
研修科目：初任者研修Ａ　「実践に必要な医学知識～認知症～」
講師名：嘉数世利子
研修日：２０２３年７月２３日（日）
受講者数：　１６名　アンケート回答者　１５名

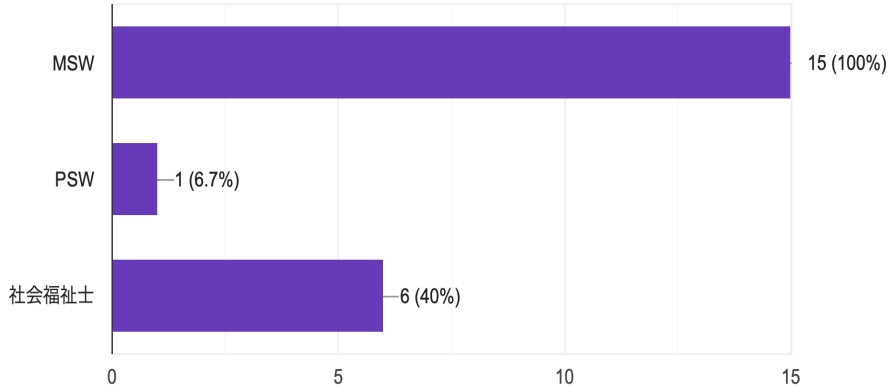
1．所属機関は何ですか。該当するものにチェックをしてください。

15 件の回答



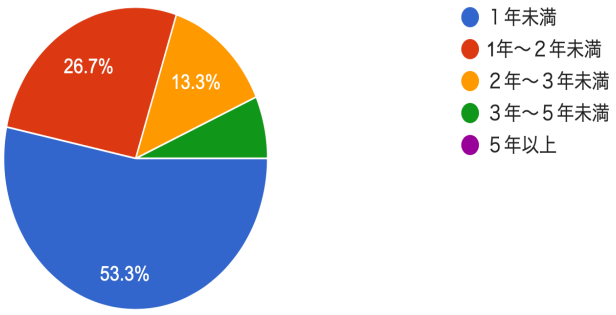
2．職種は何ですか。該当するものにチェックをしてください。

15 件の回答



3．経験年数は何年ですか。あてはまるものを選んでください。

15 件の回答



４．本講義で学んだことを３つ書き出してください。

年齢を聞いて認知症の度合いを確認する、認知症の種類によって症状が違う事は知っていたが、症例で特徴を交えて話してくれたのでとても分かり易かったです。

・認知症の様々な原因
・中核症状について
・BPSDの予防について

①治療可能な認知症もある
②認知症の症状には中核症状と周辺症状がある
③病気のせいであることを念頭に置いてケアする

認知症の原因　中核症状と周辺症状　対応方法

認知症の方の向き合い方　認知症の種類 認知症のBPSD捉え方

認知症の症状を見極める、生きる世界、事例を通して

・認知症の人自身が１番困っている。
・BPSDは意味あるメッセージで、その人が持つ能力と捉える。
・本人の背景をよく知り、ケアに活かす。

認知症の原因、認知症の種類と症状、認知症の方との接し方

1.認知症といっても、種類によってそれぞれ違う特徴があるため、それを支援者もきちんと理解する必要がある。
2.行動障害等に対して、否定的をするのではなく、病気だと理解し接する。
3.その人が生きてきた時間や、その人自身を理解し、その人が今どの時間を生きているのか考えながら接する。

①認知症の特徴や症状、治療法
②認知症の対応や不適切な対応
③介護の原則

認知症には治療可能なものと治らないものに大別されること、前頭側頭葉型認知症のケアが特に難しいこと、その人の生活歴を知ることで行動の意味が理解できたりコミュニケーションが取りやすくなることを学びました。

見当識障害は軽度、中度、重度に分かれている
薬は併用したらダメなものもあること
本人が行っている行動に対して捉え方を良い方向にベクトルを向ける

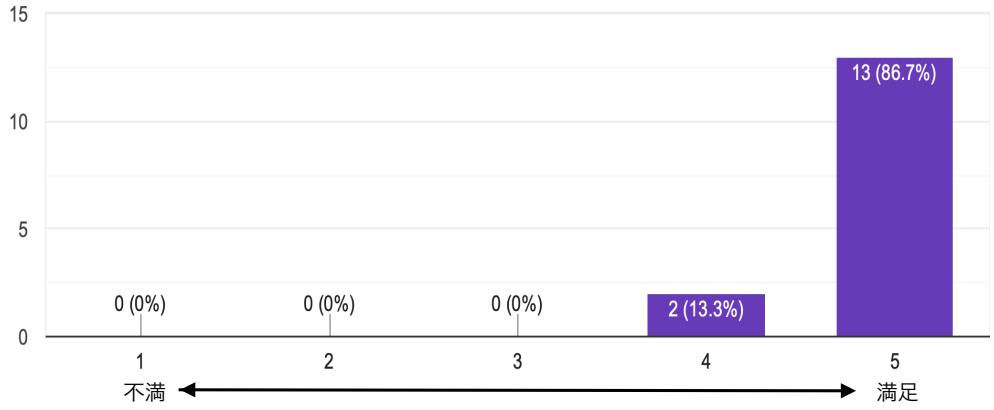
認知症とは。認知症高齢者の心理。認知症の対応。

アルツハイマー型認知症、脳血管型認知症、レビー小体型認知症

認知症は進行とともに記憶も若い頃のものへ逆戻りすること
問題行動と思われる行動は過去の生活歴から来ているものが多いこと
認知症の方々は不確かな記憶の中で生きており常に不安を抱えているため、安心させるようなコミュニケーションをとることが大事であること

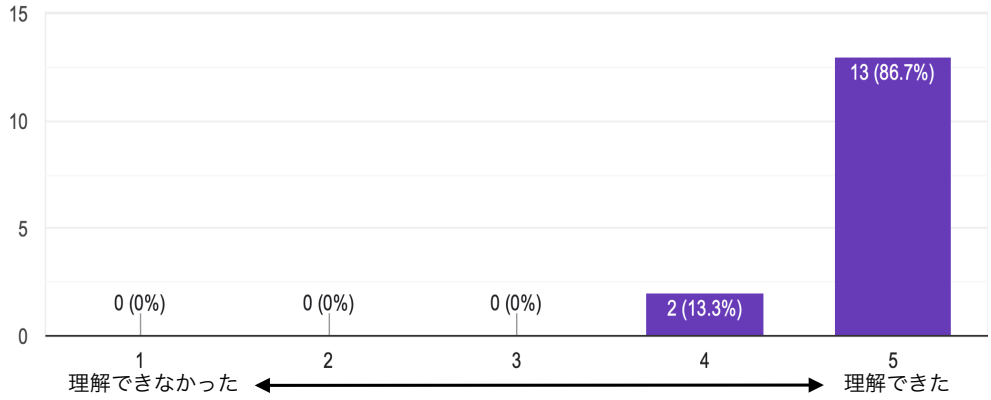
5．講義全体の満足度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

15 件の回答



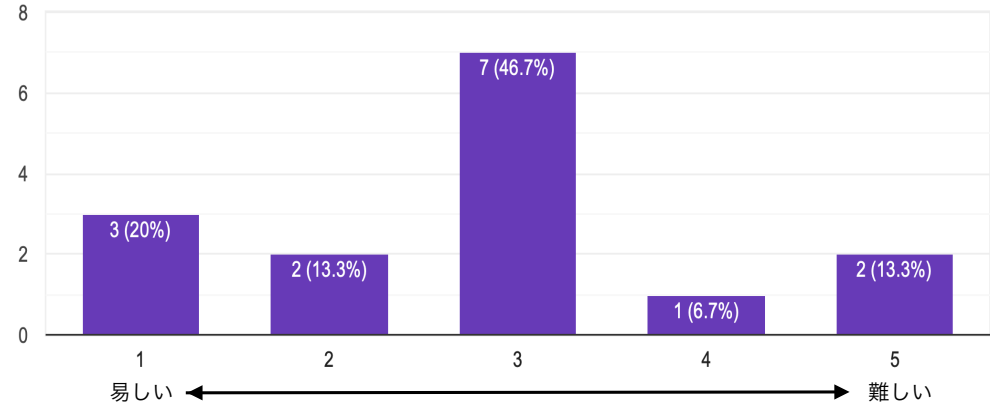
6．講義内容について理解の程度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

15 件の回答



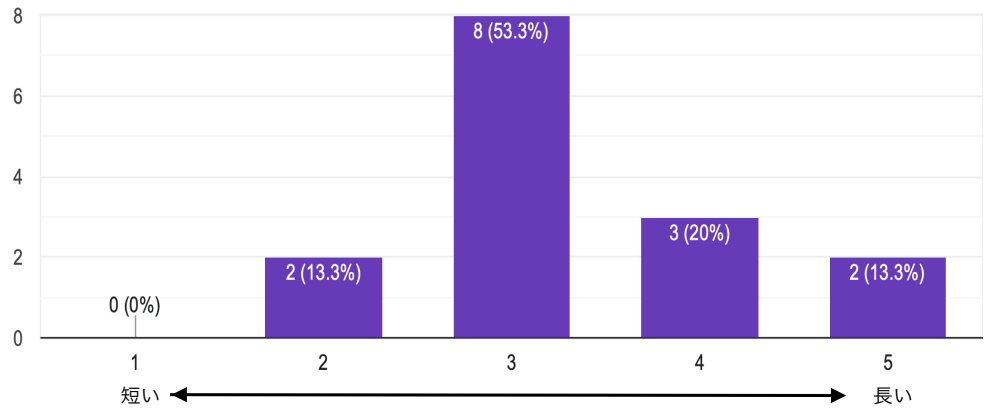
7．講義内容の難易度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

15 件の回答



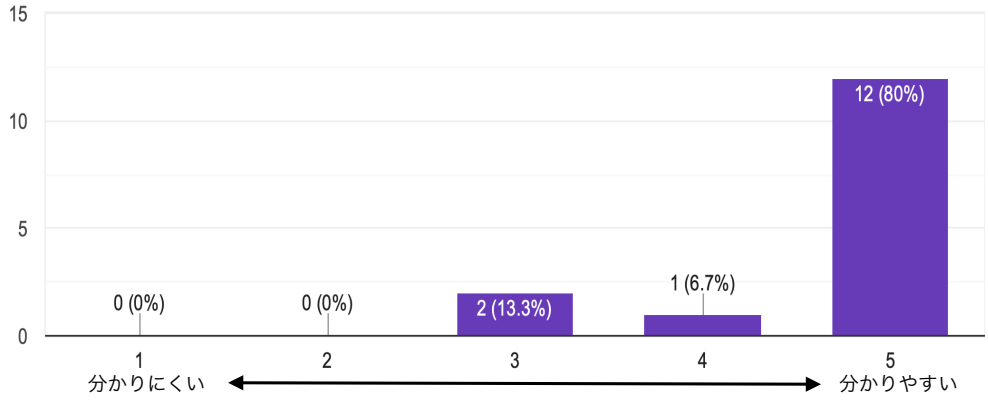
8．講義の時間配分はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

15 件の回答



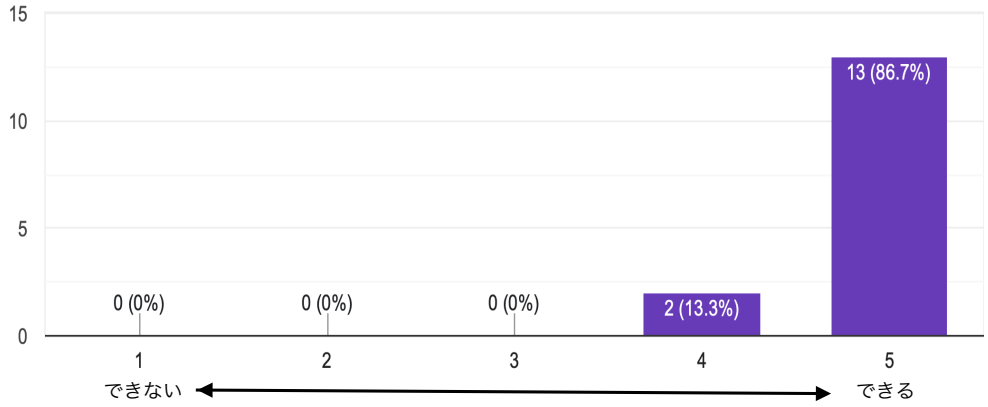
9．資料の分かりやすさはいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

15 件の回答



10．内容は実践に応用できますか。該当する番号にチェックをつけてください。【5段階】

15 件の回答



11. 本日の研修について具体的な感想・意見をお聞かせください。

患者様の生活歴を知る事で、彼の行動を理解する事ができると接し方も分かるのでとても為になりました。ありがとうございます。

分かりやすくよかったです

認知症の細かい種類について学べたのも良かったです。病気のせいである事を念頭に支援するという点が、特に精神病の患者さんへの対応と少し似てる気がしました。

写真からグループホームの雰囲気が伺えた

認知症の方の背景を知ることで、その人がどんなサインを出しているのかを理解できる。実際に写真をもって生活を説明して頂き、その工夫がとても感激しました。

事例を聞いていると、いいお話が多く涙が出てきました。

認知症の患者さんとかかわるなかで、 手を出す患者さんに対して苦手意識があるが、「なぜ手を出す行動につながったのか」という 本人の立場に立って行動の意味を理解することを 意識していきたいと思った。

高齢社会だからこそ、認知症の方は増えていくと思うため、認知症の原因や症状、接し方をきちんと学ぶ必要があると思った。また、認知症だからこそよく分からない行動を取っていると思いがちだが、言葉や行動にはメッセージがあると捉えることで、接し方も変わってくると思うため、もう少し自分でも調べてみようと思った。

認知症について詳しく学ぶ機会をいただけてとても貴重な機会をありがとうございました。 転院調整や退院調整で、どうしても認知症で周辺症状があると受け入れてもらえない現状があり日々悩みながら支援しているところです。 人手が足りていないのも分かりますが、嘉数先生のグループホームのように、認知症の方もその方らしく過ごせる場所がもっと増えてくれたら良いと思います。

認知症とせん妄の違いや認知症の症状など、分かっているようで意外と分かっていなかったなと思いました。認知症の方に対応することがあるのですが、以前まで正すような声かけをしていたのに気づき反省しました。まず、話を受け入れてその人が置かれている状況を理解(理解するためにもその人のことを知る)することを大事にしたいと思いました。

私の病棟は高齢者が多く入院しており、認知症の方も多いので種類ごとの症状やケアのポイント等とてもためになることばかりでした。周りから見ると意味不明な行動も、本人にとっては意味のある行動で、まずは本人をよく知ることの重要性を学ぶことができて良かったです。

認知症の患者様と関わっていきたいと感じました。ありがとうございました。

認知症を知ることができました。今後の実践にいかしていきます。

認知症について理解できました。ありがとうございます

認知症に関する講義や授業はこれまで何度か受けましたが、事例を交えながらの話はわかりやすかったです。認知症の症状があって周りからは変だと思われていたとしても、本人の背景を知り見方を変えれば愛嬌のある方と思えると感じました。

12. 今後の研修でとりあげてほしいテーマや希望する講師等についてお聞かせください。

グループホームで過ごされてる時の動画も見てみたい